

一期一会

「りん、りん」はい、ぬくもりほっとらいんです。」

新講座に講師として関わって三年半になる。私たちが育てた受け手が電話をとっている。感慨無量だ。

講座を作ること、それは私自身と向き合うための時間でもあった。傾聴とは何か、自分を知るとはどついうことか、自分自身に問い続けた。

それは自分一人の作業であると同時に、仲間との共同作業でもあった。

そうした日々を積み重ね

て、今、傾聴入門講座を開催している。六名の講師が各回を分担しながら、自分の言葉で傾聴を伝えている。講座が始まる前、どのメンバーの顔にも緊張感と、二時間半を一人で乗り切ろうとする覚悟が見え隠れする。そして、それぞれの個性を輝かせながら堂々と講師をやり遂げる。今まで気づかなかったメンバーの新たな一面を見出す瞬間だ。

私も講師の一人だ。講座を通して等身大の自分がこまかしようもなく透けて見えてしまふ。それでも、受講生と

のライブの中で今の自分が持っているものを何とか伝えたいと一生懸命になる。多少の失敗はある。でも、一人で乗り切ったときの達成感は格別だ。

「新講座」に関わったことで、私自身も変わったように思う。私の中にある硬かったものが少しだけ緩み、その分自分が楽になつたと感じている。「新講座」との関わりはこれから続く。その先にどんな自分があるのだろうか。

(K・Y)